



# リサイクル対応型シール（全離解可能粘着紙）のご紹介

（本項の内容は、印刷用粘着紙メーカー会からの提供情報に基づいて作成しております）

## 従来型シールのリサイクル上の問題点

従来型粘着剤は、リサイクル工程で粘着剤が細かく分散せず、大きな塊として紙の中に残ります。その部分に粘着性が残り、紙の品質を大きく損ないます。

従来型剥離紙は、ポリエチレンがラミネート加工されているため離解できず、製紙原料として利用困難な古紙とされています。

このため従来は、シールが雑誌等に折り込まれている場合はシールを除去し、雑誌本体のみがリサイクルされていました（除去されたシールは、従来は廃棄処分されていましたが、最近では燃料として熱回収にも利用されています）。

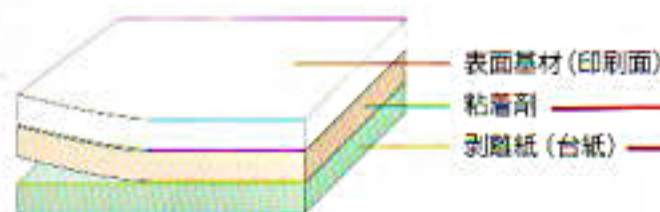
## リサイクル対応型シールとは？

「リサイクル対応型シール」は、改良された粘着剤と剥離紙を使用することで、離解し製紙原料化が可能になった製品（全離解可能粘着紙）です。

粘着剤の改良については、水または弱アルカリ水溶液中で細かく分散するとともに、非粘着化する粘着剤の使用により、雑誌本体とともに紙向け製紙原料化が可能なリサイクル対応型のシールが開発・商品化されています。

剥離紙の改良については、ポリエチレンのラミネート紙の代わりに、クレーコート紙やグラシン紙を使用することにより、紙向け製紙原料化が可能なリサイクル対応型の剥離紙が開発・商品化されています。

### リサイクル対応型シールの断面模型図



**リサイクル対応型シールは「粘着剤」に工夫がしてあります**

水または弱アルカリ水溶液中で、細かく分散するとともに非粘着化する粘着剤を使用しています。

**「剥離紙」にも工夫がしてあります**

ポリエチレンをラミネートしていない剥離紙を使用しているため、製紙原料として利用可能です。

※ シールの実際の厚さは通常0.2～0.3mm程度で、表面素材／粘着剤・剥離紙のそれぞれの厚さは、製品によって異なります。

※ リサイクル対応型シールのリサイクル適性は、受け入れ製紙工場ごとに、設備・製品種類等を勘案して評価・確認しています。

※ 現在、リサイクル対応型シールのリサイクル適性評価方法の標準化に取り組んでいます。